

NEWS Release

報道関係者各位

地元の特産品『香良洲梨』に親しむ 香良洲小学校児童が梨の「袋掛け」を体験

6月25日、JAみえなか（組合長：山本清巳）では、管内にある津市立香良洲小学校の3年生が、同JA香良洲果樹振興会梨部会（舞野賢司部会長）が提供する体験農園で特産「香良洲梨」の袋掛け体験をします。

当日は児童たちがあらかじめ梨の絵や梨農家などへのメッセージを書いた袋を梨に被せていきます。袋掛けをすることで、病害虫や雨風などから果実を保護し、梨の肌の仕上がりをきれいにする効果が得られます。同校では3年生を対象に、授粉や摘果、袋掛け、収穫などの体験を通して、年間を通じて特産品の理解を深めています。

袋掛け体験日

日時：令和8年6月25日(木)

9時45分～(1時間程度)

場所：体験農園（津市香良洲町馬場）

※雨天の場合は26日(金)に延期予定です



香良洲梨とは？

- ・100年以上の歴史を持つ「香良洲梨」は周囲を川と海に囲まれた土地で栽培されているため、甘みが強いのが特徴。
- ・産地の活性化や生産者との交流を目的に同校で体験学習を取り入れています。
- ・体験農園は引退した梨農家の休園を活用しています。
- ・部会は現在15人、約6.0haの面積で「幸水梨」「豊水梨」を中心に栽培しています。



【お問い合わせ】※写真提供も致しますのでご相談ください。

JAみえなか 企画部 企画広報課（広報担当：西川）

TEL0598-28-8822（事務所）、

FAX：0598-28-8034

Webサイト：<https://www.ja-mienaka.or.jp/>

※取材に来ていただく際は事前にご連絡ください。

